

茨城県石岡市立杉並小学校 (学校長 川俣 隆弘)

実施日	平成20年2月14日(木)	時間	午前9時～午後1時30分
実施場所	体育館	対象/人数	1～6年生 543名
担当教諭	阿部 彩子	ファシリテーター	山形 正子
講師	ジョン・ミン(韓国・留学生) 松山 美子(台湾) 新垣 マリア(ペルー) 水野 亦珀(中国) タベッシュクー・ベヘルズ(イラン) ウォン・ワイ・メン・ポリー(香港・留学生)		

活動内容

各学年の1組・2組・3組ごとに分かれる
 講師の紹介
 国ごとに分かれてお話を聞く・ゲーム
 お礼の言葉

児童の感想

- ・中国の教科書を見せてもらったなら、全部漢字でした。なんて書いてあるのか全く分かりませんでした。ちょうのかざりものや、北京オリンピックの人形をみせてもらえてうれしかったです。家に帰ってお家の人にも教えてあげました。
- ・台湾の1年生の教科書には漢字がいっぱいあってすごいと思いました。中学三年生ぐらいになると英語がいっぱいの新聞も読めるようになるそうです。この学習でいろんなことが分かって楽しかったです。ゲームもとっても楽しかったです。
- ・韓国では、小学校の小さい子も国旗の書き方を習うそうです。日本の国旗よりずっと難しいのに書けるなんて、よっぽど自分の国に対する思いが強いのだなあと思いました。

先生の感想

・六年生は社会科で外国の生活について学習したばかりだったので、特に関心が強く、積極的に質問をする姿が見られて良かったです。イランは子どもたちにとってはあまりなじみのない国でしたが、日本の「だるまさんがころんだ」と似たゲームを体験したことで、親近感をもつことができたようです。

成果と課題

・さまざまな国の方と交流し、その国の様子を聞いて写真や飾りを見ることで、その国の良さを感じたり、日本の文化と似ているところや違っているところを見つけたりすることができました。各国のゲームは子ども達にとって大変楽しいもので

あり、すぐにルールを覚えて歓声をあげながら楽しむ姿を見ることができました。講師の方も笑顔で生き生きと子ども達に接してくれ、休み時間にも積極的に子ども達と交流してくれて本当に感謝しています。今回は縦割り班のチームごとに分かれて詳しくお話を聞きましたが、全部の国の話を聞きたかったという児童が多く、より児童の願いにそった交流の持ち方を検討したいと思いました。

